

科目名 「 高齢者歯科学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	野本 たかと

学習目標 (GIO)	現在の日本社会において要介護者人口の増加に伴う福祉・医療費の増大が懸念されており、国民の健康問題が大きな課題である。こうした課題は地域支援によって解決されるべきものであり、地域口腔保健活動に携わる歯科衛生士として健康増進の鍵となる口腔機能の維持を担う責任がある。そのため高齢者にとって適切な歯科医療にとどまらず、高齢者の取り巻く社会環境ならびに社会制度を熟知しておく必要がある。地域歯科医療や保健活動において高齢者のための包括的な歯科医療における課題を解決できる基本的能力を修得する。
担当教員	野本たかと, 小見山道, 梅澤幸司, 田中陽子, 飯田崇, 遠藤眞美, 伊藤梓, 矢口学, 井樋加奈子
教科書	歯科衛生士講座 高齢者歯科学 (永末書店)
参考図書	最新歯科衛生士教本 高齢者歯科, 歯科衛生士のための障害者歯科, スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科, 障害者歯科ガイドブック, 有病者・高齢者歯科治療マニュアル (以上全て医歯薬出版), 歯科衛生士のための有病者歯科医療(クインテッセンス出版),
評価方法 (EV)	原則として定期試験(100%)を評価点とする。定期試験は、各講義担当教員が出題し、その総合評価とする。なお、配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。
学生への メッセージ オフィスアワー	超高齢社会である日本において要介護高齢者の増加および発達期の障害者の高齢化により福祉・医療サービスの必要な人口は増加しており、地域での支援体制が強化されている。そのため歯科衛生士として将来的に高齢者・障害児者の歯科口腔保健を担う必要があることを認識して受講して下さい。オフィスアワー：月曜日～金曜日 8：30～17：30

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/5	高齢者と 社会福祉	<p>【授業の一般目標】 社会における高齢者のおかれた環境について理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的視点からみた高齢者について説明できる 2. 社会における高齢化, 高齢社会について説明できる 3. 高齢者の人口統計について説明できる 4. 高齢者を取り巻く社会的問題と社会保障の重要性について説明できる 5. 高齢者の基本的生活を支える社会福祉政策について説明できる <p>【準備学習項目・時間】 日本の年代別人口比率について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して高齢社会における問題点と社会保障制度に基づいた社会福祉について学ぶ</p>	田中

<p>第2回 4/12</p>	<p>加齢と老化</p>	<p>【授業の一般目標】 高齢者に対して適切な歯科医療の提供を行うために、高齢者の身体的・精神的特徴および社会的機能の変化について理解する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 加齢と老化の違いについて説明できる 2. 加齢に伴う生理的变化と病的変化について説明できる 3. 老年期の社会生活機能の変化について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 社会的視点からみた高齢者の生活環境・社会環境について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して加齢に伴う全身の変化を理解し、歯科診療上必要な配慮について学ぶ</p>	<p>田中</p>
<p>第3回 4/19</p>	<p>高齢者と全身疾患</p>	<p>【授業の一般目標】 高齢者の歯科診療上必要な配慮とは何かを知るために、加齢に伴う病的変化による疾患について原因および病態を理解する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者に見られる疾患の特性について説明できる －若年者との病態の現れ方の違い(不顕性など)－ 2. 高齢者に見られる疾患の定義・原因・病態について説明できる －高血圧症・心疾患・脳血管障害・糖尿病・その他の慢性疾患など－</p> <p>【準備学習項目・時間】 高齢者の身体的・精神的特徴および社会的機能の変化について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して、高齢者の多くが肉眼的変化のみならず内科的疾患を多く抱えており、歯科診療上配慮が必要なことを学ぶ</p>	<p>矢口 (野本)</p>
<p>第4回 4/26</p>	<p>高齢者のための歯科診療と全身管理</p>	<p>【授業の一般目標】 多岐にわたる内科的疾患をもつ高齢者の歯科診療における全身管理の重要性を理解し実施方法を修得する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者に多く認められる基礎疾患の病態評価について説明できる 2. 全身管理の方法について説明できる 3. 高齢者に多く認められる基礎疾患と全身管理方法の関係性について説明できる 4. 基礎疾患に起因する歯科診療場面での緊急時の対応方法について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 高齢者に多く認められる全身疾患について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して基礎疾患のある高齢者の歯科診療上必要な配慮について学ぶ</p>	<p>矢口 (野本)</p>
<p>第5回 5/10</p>	<p>高齢者と薬剤</p>	<p>【授業の一般目標】 高齢者の歯科診療場面での薬剤使用・投与における配慮を知るために、生理的機能の低下による薬物代謝の変化ならびに多剤服用の現状を認識する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者の薬物動態について説明できる 2. 歯科診療上使用する薬剤ならびに処方する薬剤と日常服用している薬剤との相互作用について説明できる 3. 日常服用している薬剤により口腔に現れる症状について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 高齢者の生理的機能について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して、高齢者の歯科診療においては使用もしくは処方する薬剤が医療事故につながるリスクがあることを学ぶ</p>	<p>伊藤梓</p>

<p>第6回 5/17</p>	<p>高齢者のための 感染予防対策管理</p>	<p>【授業の一般目標】 生理的機能の低下ならびに病的変化の認められる高齢者のための感染予防対策管理の重要性を理解し、その実施方法を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者における感染症の特徴について説明できる 2. 感染症の発生要因について説明できる 3. 感染予防対策の方法について説明できる 4. ユニバーサル・プリコーション, スタンダード・プリコーションについて説明できる 【準備学習項目・時間】 高齢者の生理的機能ならびに生活環境を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して生理機能の低下ならびに生活環境の違いなどにより重篤な感染症が誘発されやすいことを知り、感染予防対策の方法を学ぶ</p>	<p>伊藤梓</p>
<p>第7回 5/24</p>	<p>高齢者の歯科診療 への導入</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯科医療の提供をするために高齢者の生理的機能(身体的機能・精神的機能)とそれに起因する行動特性の評価の重要性を理解し、歯科診療時に必要な配慮についての知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者に認められる行動特性についてその原因と状態を説明できる 2. 問診を通じた高齢者の生理的機能ならびに行動の評価方法を説明できる 3. 高齢者ならびに介護者とのコミュニケーションの重要性を説明できる 【準備学習項目・時間】 華麗による身体的・精神的機能の特徴について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して高齢者の歯科診療に必要な配慮に関して接し方も含めた診療計画の立案方法を学ぶ</p>	<p>遠藤</p>
<p>第8回 5/31</p>	<p>高齢者にみられる 口腔内の変化と疾患への対応 1</p>	<p>【授業の一般目標】 高齢者に適切な歯科医療を提供するために、加齢に伴う口腔機能の低下と口腔内環境との関係性を理解し高齢者に多く認められる口腔疾患の原因および病態についての知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 加齢による生理的機能低下に伴う口腔機能の変化について説明できる 2. 高齢者の口腔内環境の特徴を説明できる 3. 高齢者に多く認められる口腔疾患について説明できる 【準備学習項目・時間】 加齢に伴う全身の生理的機能の変化について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して高齢者の口腔保健に携わる歯科衛生士として高齢者の口腔内の状態や口腔疾患について学ぶ</p>	<p>飯田 小見山</p>
<p>第9回 6/7</p>	<p>高齢者にみられる 口腔内の変化と疾患への対応 2</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯科医療を提供するために、高齢者の歯科治療計画を立案することが出来る 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者の歯科保存治療(歯周処置含む)について説明できる 2. 高齢者の欠損補綴治療について説明できる 3. 高齢者の言語障害とその対応について説明できる 4. 高齢者の歯科治療計画立案の仕方について説明できる 【準備学習項目・時間】 加齢に伴う口腔の変化について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介し高齢者の口腔内の状態や口腔疾患について知り、実際の歯科治療の診療補助と口腔保健を担う衛生士としての役割を学ぶ</p>	<p>飯田 小見山</p>

<p>第10回 6/14</p>	<p>高齢者の 摂食嚥下リハビリ テーション</p>	<p>【授業の一般目標】 加齢による生理的機能の低下と摂食嚥下機能の関連性について理解し、高齢者に対する摂食嚥下リハビリテーションの重要性を認識するとともにその実施方法を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 加齢に伴う摂食嚥下機能を主とした口腔機能の低下について説明できる 2. 高齢者にみられる摂食機能障害の特徴について説明できる 3. 高齢者における摂食嚥下機能の評価について説明できる 4. 高齢者のための摂食嚥下リハビリテーションの方法について説明できる 【準備学習項目・時間】 加齢による口腔機能の低下とそれに起因する口腔内環境を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して、高齢者に対して適正で包括的な口腔管理を行うために口腔衛生管理だけでなく摂食嚥下リハビリテーションの重要性とその実施方法を学ぶ</p>	<p>野本</p>
<p>第11回 6/21</p>	<p>高齢者における 口腔機能管理 その1 基本的事項</p>	<p>【授業の一般目標】 要介護高齢者の口腔内の状態および多く認められる疾患について知り、口腔管理の重要性を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者における口腔機能と全身疾患の関係性について説明できる 2. 高齢者における口腔機能管理における注意事項について説明できる 3. 介護者および関係者への指導の重要性について説明できる 【準備学習項目・時間】 高齢者の状態と取り巻く環境について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して将来接するであろう高齢者への口腔管理の重要性とその対応について学ぶ</p>	<p>遠藤</p>
<p>第12回 6/28</p>	<p>高齢者に対する 口腔機能管理 その2 実践</p>	<p>【授業の一般目標】 高齢者の健康維持増進の支援をする歯科衛生士として適正な口腔管理を担う重要性を理解し、高齢者のための歯科衛生課程の実施方法を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 口腔管理の具体的な方法について説明できる 2. 高齢への口腔機能管理のための歯科衛生課程について説明できる 【準備学習項目・時間】 高齢者の身体的・精神的特徴・口腔の特徴ならびに行動特性を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して将来携わるであろう高齢者のための歯科衛生課程を実施できるように基礎知識と実施方法について学ぶ</p>	<p>井樋 (野本)</p>
<p>第13回 7/5</p>	<p>要介護高齢者の 現状と 医療実態</p>	<p>【授業の一般目標】 地域口腔保健活動に携わる歯科衛生士として要介護高齢者の生活・社会環境を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 要介護人口動態について説明できる 2. 要介護の原因と病態について説明できる 3. 要介護高齢者のおかれた環境について説明できる 4. 要介護高齢者と福祉医療費の関係性について説明できる 【準備学習項目・時間】 高齢社会における問題点と社会保障制度を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して将来地域口腔保健活動に携わる歯科衛生士として社会における要介護高齢者の現状を理解する</p>	<p>梅澤</p>

<p>第14回 7/12</p>	<p>要介護高齢者と 介護保険</p>	<p>【授業の一般目標】 地域口腔保健活動に携わるために必要となる要介護高齢者に対する歯科医療サービスと介護保険サービスの関係性について理解する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 介護保険についての概要を説明できる 2. 要介護認定とその利用方法について説明できる 3. 要介護保険によるサービスについて説明できる 4. 介護予防について説明できる 5. 歯科医療と介護保険・介護予防の関係性について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 要介護高齢者の現状と取り巻く環境について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して将来地域口腔保健活動に携わる歯科衛生士として社会福祉サービスと歯科医療サービスの関係性について学ぶ</p>	<p>梅澤</p>
<p>第15回 7/19</p>	<p>訪問診療 医療連携</p>	<p>【授業の一般目標】 在宅もしくは施設にて生活している要介護高齢者への歯科医療の提供において訪問診療の必要性があることを認識し、その際に携わる歯科衛生士として必要な知識を修得する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 訪問診療についての概要を説明できる 2. 訪問診療における歯科口腔保健指導について説明できる 3. 訪問診療における感染予防対策について説明できる 4. 訪問診療を行う上での医療連携について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 要介護についてその状態および社会福祉サービスを説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して将来接する機会が多いであろう要介護高齢者に必要性が高まっている訪問診療について社会福祉サービスにおける歯科の役割と連携を念頭に置いた口腔保健指導について学ぶ</p>	<p>梅澤</p>